

令和3年度 第4回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：令和3年10月12日（火）18:30～19:10

場 所：701会議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・林 恭子委員・澤田 さなえ委員・有賀 千歳委員・岩崎 明子委員・山本 桂子委員・功 刀 隆委員・山下 一美委員

事務局：市民部長・生活文化課長・男女共同参画係長

○議題

- ・議題（1）東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和2年度事業）

会 長：事務局より説明を。

事 務 局：資料2で、前回会議でのご意見を踏まえ答申文案を修正した箇所について説明したい。まず「3 意見交換（ヒアリング）について」の「今回、令和2年度事業を評価するにあたっては、福祉保健部障害福祉課及び子ども家庭部子育て支援課との間で意見交換を実施しました。障害福祉課とは障害者に対する就労自立支援について、子育て支援課とは私立幼稚園の名簿（混合・男女別）を中心に質疑応答を行いました。」という文言を追加した。また、その後の「それぞれの事業への理解が深まり、より正確な評価に繋げることができました。」という部分も若干文言を変更した。次に「5 今後に向けて」の2行目「特に女性や女の子への影響」のところを「特に女性への影響」に修正した。次に答申文の最後の部分は「東京都男女平等参画審議会では、「東京都男女平等参画推進総合計画」の改定に向けて議論が行われており、そのような動向や国や他市の取組に倣って、審議会ごとの女性比率を明示し、具体的に登用計画を策定することを検討していただきたい。」という記載に修正した。

会 長：クオータ制が入っていたのがこのような形に直った経緯について補足をお願いしたい。

事 務 局：東京都男女平等参画審議会の中間答申案は、答申の素案であり、その素案について今後パブリックコメントを行っていく形になる。まだ案の段階であるため、今回は「東京都男女平等参画審議会では、『東京都男女平等参画推進総合計画』の改定に向けて議論が行われており」という記載に調整させて頂いた。

会 長：しかし方向性としては審議されており、来年の3月にはしっかりとしたものが出ると思われる。市でも参考にすることになると思う。それでは答申文案を読み上げてもらいたい。

～答申文（案）を読み上げ～

会 長：最後のページの3段落目「プランの計画期間の残り2年間」とあるが「2年」でよいと思う。

事務局：そのようにしたい。

委員：確認なのだが、「4 令和2年度事業について」の「事業内容を精査し、関連する課の取組を推進していく」とあるが、事業内容を精査して間引いて他の課の取組でよいものを推進していくということか。

会長：例えば、公共調達で男女共同参画を進めている企業に加点評価を与える制度について生活文化課だけが担当しているが、そもそも生活文化課は入札を所管していないため、この課題はなかなか進まない。進めるには入札を担当する課を巻き込まなければならないということである。もうちょっと分かりやすくすると「事業内容を精査し関連する課を巻き込みながら取組を推進することが必要」ではどうだろうか。要は「関連する課の取り組みを推進する」だけでは分かりにくいので、「関連する課と連携しながら」という文言にすると少しは分かりやすくなるのではないか。

委員：それでわかると思う。

会長：それでは「関連する課と連携しながら」ということで。

事務局：そのようにしたい。

委員：最後のページの4行目の「オンラインを活用するなど、事業の実施方法が多様化し、新たな可能性や人と人とのつながりが生まれたのではないかと思います。」という書き方よりも、「新たな可能性や人と人とのつながりが生まれました」という書きの方がよいのではないかと思います。実際に担当された方がそのように感じたのであれば、それを書いた方がよいのではないか。

会長：ただ、これは審議会としての答申であり、当事者でないのでその書き方はできない。

委員：実際のところはどうだったのか。

事務局：実際、男女平等推進センターのオンライン講座では、青森の方が参加したり、幼稚園のお迎えをしながら参加したりと、対面型の事業では参加できなかった方に参加して頂いたと感じている。

会長：それでは、「つながりが生まれたと聞いている」ということでよいのではないか。

委員：オンラインの方が便利な方と実際に集まって参加したいという人いろいろなパターンの人がいるということだと思う。今後もオンラインという方法も残すことで関わり方が広がったということか。

事務局：テーマや対象によって実施方法について考えていきたい。

会長：何かお気づきの点があれば10月15日までに事務局へ。それでは次にその他について事務局より説明を。

事務局：男女平等推進センターと市立図書館の連携事業について、10月11日の国際ガールズ・デーの取組として図書展示とブックリストの配布を男女平等推進センターと市内の図書館4館で行っている。次に次回市民会議について、毎年特に良い取組を行っている課に表彰をしているが、次回の市民会議で表彰式を行

いたいと考えている。また、現在実施中のアンケートについて、現時点では約600件の回答を頂いているが、こちらについても次回会議で報告を行いたい。最後に、答申については、10月20日に名取会長と本田副会長に代表して市長に答申を渡していただく予定である。

○次回（後日調整）